

R3年度 事業名	合併処理浄化槽設置整備事業補助金
R2年度 事業名	合併処理浄化槽設置整備事業補助金

総合戦略 体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	公共下水道の認可区域外および農業集落排水の処理区域外における合併処理浄化槽の設置促進を図ることにより、市民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。(鯖江市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱)				
	概要	公共下水道の認可区域外および農業集落排水の処理区域外に居住する市民が合併処理浄化槽を設置した場合、設置に要する費用等について補助金を交付する。 循環型社会形成推進交付金事業(令和2~6年度:5ヵ年・全体計画:100基)に市独自の上乗せをして実施中。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	国庫および県費を財源として設置に要する費用の一部を助成する制度。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	市公式ホームページおよび年1回の市広報誌による広報回数		回	目標値	2	2	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	設置件数		件	目標値	35	43	30	5	5
				実績値	25	14	7		
	計算 根拠			達成率	71.4	32.6	23.3		
				実数値					
		ランク		C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス流行による経済状況不振および移動の自粛等による。								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	48,378	55,999	34,970	19,119	8,224	事業タイ	交付金事業
	決算額	46,258	20,471	13,173	5,756		経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	10	602	合併処理浄化槽設置費補助金	8,224	8,224	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	8,224

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	循環型社会形成推進交付金	0
2	合併処理浄化槽設置整備事業費補助金	1,969
3		
4		
5以降		
合計		1,969

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **8 / 16 C**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **10 / 20 B**

ACTION

**R3方向性⇒** 内容縮小

**今年度** 取組内容  
合併処理浄化槽設置の需要が少なく、予算額は減額するが、本助成制度を活用して合併処理浄化槽を設置してもらい、市民生活の環境および公共用水域の水質保全に努める。

**来年度へ向けて** R2年度実績  
合併処理浄化槽設置件数 7件

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
補助対象区域(下水道使用不可能区域)の人口減および高齢者のみ世帯の増加により、新規設置件数は増加しない見込み。単独処理浄化槽が使用できる間は、合併処理浄化槽に変えてもらうことは難しい。住宅以外に対する補助は、国費と県費が付かないため、全額市の持ち出しになっている。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
市単独補助については、令和6年度までの時限措置としたい。

**R4方向性⇒** 維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	農業集落排水施設整備事業・新規接続推進事業
R2年度 事業名	農業集落排水施設整備事業・新規接続推進事業

総合戦略 体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	1990	終了年度	9999
	目的	農業集落排水の処理区域内において、公共樹が未設置の箇所公共樹を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備と下水道接続率の向上を図る。				
	概要	農業集落排水の処理区域内において、公共樹が未設置であるため農業集落排水処理施設を利用できない市民の要望に応え公共樹を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備を図るとともに、下水道への新規接続を推進する。				
	コロナ対応 の取組	コロナ禍での戸別訪問は避ける必要があるため、非接触型での接続推進活動を実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	公共樹の設置数		ヶ所	目標値	30	10	10	10	10
				実績値	35	27	27		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	下水道接続人口		人	目標値	11,591	11,616	11,378	11,400	11,400
				実績値	11,441	11,454	11,451		
	計算 根拠			達成率	98.7	98.6	100.6		
				実数値					
	下水道接続率		%	目標値	92.2	92.3	92.4	92.5	92.6
				実績値	92.2	92.3	92.4		
	計算 根拠	接続人口/区域内人口		達成率	100	100	100		
				実数値	11,441/12,414	11,454/12,416	11,451/12,398		
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク									
B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	農業集落排水事業会計
	予算額	10,000	15,000	15,000	15,000	10,000		事業タイ	単独事業
	決算額	9,404	14,758	8,557	14,718			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	9		管渠整備費	12,500	10,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	10,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	受益者分担金	3,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		3,000

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
下水道未接続世帯等への普及活動を実施し、下水道接続率の向上を図る。

来年度へ向けて R2年度の実績  
公共施設設置数 27箇所  
下水道接続率 92.4%

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
接続にも費用がかかることから、浄化槽が使用可能である間は、下水道への接続推進は難しい。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
新規接続推進事業については「下水道普及啓発事業(761)」にてこれまでも実施していることから、事業名を「農業集落排水施設整備事業」に変更する。

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	下水道普及啓発事業
R2年度 事業名	下水道普及啓発事業

総合戦略 体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課		開始年度	1985	終了年度	9999
	目的	下水道事業を広く市民に啓発し、下水道事業に関する理解と知識を深めるとともに、下水道の普及促進を図る。(鯖江市下水道条例・鯖江市農業集落排水処理施設設置および管理に関する条例)					
	概要	毎年開催される「さばえ環境フェア」において、下水道事業に関するブースを設け、下水道事業の普及啓発のためのパネル展示および下水道クイズの実施を通して市民に広く啓発し、下水道事業に関する理解と知識を深めながら、下水道の普及促進を図る。 また、市内各地区で開催される行事の中で同様の取組みを実施し、下水道の普及促進を図る。					
	コロナ対応 の取組	コロナ禍のためイベント開催は基本的にしないことから、今年度は活動できない。					
	法令 根拠 現在	下水道法 市直営	実施 形態	内容	環境フェアおよび地区公民館へ市職員が出向き、下水道の普及啓発に関するパネルの展示と下水道クイズの受付等を実施している。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	下水道普及促進活動の開催、環境フェア等		回	目標値	4	4	-	-	-
				実績値	4	3	-	-	-
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	参加者数		人	目標値	1,400	1,400	-	-	-
				実績値	1,500	1,750	-	-	-
	計算 根拠	環境フェア500人		達成率	107.1	125	-	-	-
				実数値					
		ランク	A	A	-				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	公共下水道事業会計
	予算額	50	40	40	40	0		事業タイ	単独事業
	決算額	28	39	0	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	5		汚水一般管理費	55,600	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **6 / 16 C**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

**今年度 R3方向性⇒** 休止(R3以降使用)

**取組内容** コロナ渦によりイベント中止

---

**来年度の実績 R2年度の実績** 実施なし

**R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題** イベント的な普及活動はできない。

**実績と課題を踏まえたR4年度の変更点**  
同じ下水道接続率の向上を目標に掲げている「水洗便所改造資金預託事業(766)」をここに統合する。  
農業集落排水施設整備事業・新規接続推進事業(事務事業ID495)および公共下水道施設整備事業・新規接続推進事業(事務事業ID776)における「新規接続推進事業」を本事務事業で実施するため事業名を「下水道新規接続推進事業」に変更する。

**R4方向性⇒** **統合**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

---

R4年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	水洗便所改造資金預託事業
R2年度 事業名	公共下水道管理運営事業・水洗便所改造資金貸付金

総合戦略 体系	533	世界のめがねの聖地SABAEの確立に人権尊重と地域連携の推進 に向けた組織強化	広域的行政サービスの充実
------------	-----	--	--------------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	1985	終了年度	2021
	目的	下水道への接続工事に要する資金調達が困難な市民が、無利子の貸付制度を利用可能とすることにより、下水道接続率向上を図る。(鯖江市水洗便所改造資金貸付条例)				
	概要	3金融機関(北陸銀行、福井信用金庫、北陸労働金庫)に資金を預託し、その運用益で制度利用者の利子分を賄ってもらう。(貸付実行者は各金融機関) 【対象となる工事】 ①くみ取りトイレを水洗トイレに改造する工事 ②浄化槽を撤去し下水道に切替える工事 ③水洗化工事に伴う排水設備の設置工事 【融資限度額】100万円 【利率】無利子 【償還期間】3年間				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	契約金融機関への預託制度	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	市公式ホームページおよび年1回の市広報誌による制度紹介		回	目標値	2	2	2	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	貸付実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	0	0	100		
	計算 根拠	貸付実行数/貸付申請数		達成率	0	0	100		
				実数値	0/1	0/1	1/1		
	貸付数			目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	0	1		
	計算 根拠			達成率	0	0	100		
				実数値			1/1		
			ランク		C	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	公共下水道事業会計
	予算額	10,000	10,000	10,000	10,000	8,000		事業タイ	単独事業
	決算額	10,000	10,000	10,000	10,000			経費区分	貸付金

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	2	3		その他営業外費用	4,000	4,000
2	2	2	3		その他営業外費用	4,000	4,000
3							
4							
5以降							
						合計	8,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	水洗便所改造資金貸付金元利収入	8,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		8,000

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **7 / 16 C**

効率性: 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  ある  ない

効率性: 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。  ある  ない

有効性: 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。  ある  ない

有効性: 今以上に、成果を向上させる余地はないか。  ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **内容縮小**

今年度 取組内容: 経済的困難を理由に下水道へ接続していない市民に対し、無利子の貸付制度を利用可能とすることにより、下水道接続率向上を図る。

来年度の実績: R2年度実績 1件

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題: 農業集落排水と分割の意味がないため統合。R2年度の実績は1件のみ。低金利時代に預託の利点は金融機関側にもなく、手間のみがかかるために受託したくない意向。商工観光課も預託事業はろうきん以外廃止しており、現在の制度利用者の返済が終了次第、事業の変更廃止をしたい。各金融機関に預託金を渡し、貸付制度の利用はあくまで各金融機関と使用者との債権債務関係であり、利用しにくいので取り下げられた事例があった。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点: 令和2年度まで預託5金融機関→令和3年度預託実施3金融機関→令和4年度預託予定2金融機関。商工観光課も預託事業はろうきん以外廃止しており、現在の制度利用者の返済が終了次第、事業を変更廃止をしたい。当制度自体が下水道への接続促進のための事業であり、接続促進事業は他にもあることから、統合とする。統合先:「下水道普及啓発事業(761)」

R4方向性⇒ **統合**

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	公共下水道施設整備事業・新規接続推進事業
R2年度 事業名	公共下水道施設整備事業・新規接続推進事業

総合戦略 体系	441	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	公共下水道の供用開始区域内において、公共枮が未設置の箇所に公共枮を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備と下水道接続率の向上を図る。				
	概要	公共下水道の供用開始区域内において、公共枮が未設置であるため公共下水道を利用できない市民の要望に応え公共枮を設置することにより、市民の生活環境基盤の整備を図るとともに、公共下水道への新規接続を推進する。				
	コロナ対応 の取組	コロナ禍での戸別訪問は避ける必要があるため、非接触型での接続推進活動を実施する。				
法令 根拠	下水道法	実施 形態	内 容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	公共枮の設置数		個	目標値	70	20	20	20	20
				実績値	139	126	93		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	下水道接続人口		人	目標値	47,152	47,202	47,013	47,300	47,300
				実績値	47,288	47,403	47,555		
				達成率	100.3	100.4	101.2		
	計算 根拠			実数値	47,288/47,152	47,403/47,202	47,555/50,611		
下水道接続率		%	目標値	93.8	93.9	94.0	94.1	94.2	
			実績値	93.8	93.9	94.0			
			達成率	100	100	100			
計算 根拠	各年度の下水道接続率		実数値	47,288/50,437	47,403/50,504	47,555/50,611			
		ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	公共下水道事業会計
	予算額	30,000	30,000	30,000	30,000	35,000		事業タイ	単独事業
	決算額	30,000	30,000	30,000	30,000			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	2		汚水管渠整備費(単)	36,600	35,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	35,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	受益者負担金	1,800
2	下水道事業債	33,200
3		
4		
5以降		
合計		35,000

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
下水道未接続世帯等に対する普及活動を実施し、下水道接続率の向上を図る。

来年度へ向けて R2年度の実績  
公共樹設置数 93箇所  
下水道接続率 94.0%

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
接続にも費用がかかることから、浄化槽が使用可能である間は、下水道への接続推進は難しい。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
新規接続推進事業については「下水道普及啓発事業(761)」にてこれまでも実施していることから、事業名を「公共下水道施設整備事業」に変更する。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	公共下水道施設整備事業・雨水排水路整備
R2年度 事業名	公共下水道施設整備事業・雨水排水路整備

総合戦略 体系	434	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	浸水被害総合軽減事業
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	1974	終了年度	9999
	目的	雨水幹線等の整備を行い、浸水被害を軽減することにより、安全・安心の向上を図る。				
	概要	5年に1回規模の降雨に対して浸水被害を解消することを目標に雨水幹線を整備する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠	下水道法、都市計画法	実施 形態	内容	測量・地質調査・設計については、資格の有する民間に委託している。	
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
雨水幹線等整備延長		m	目標値	950	600	600	620	600
			実績値	831	617	531		
計算 根拠			達成率	87.5	100	88.5		
			実数値					
			ランク	B	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	今年度の整備箇所は上下水道や電線などの支障物件が多く、移転補償工事の工程調整に不測の日数を要したため。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	公共下水道事業会計
	予算額	220,594	312,000	255,000	236,800	380,000		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	220,594	271,000	239,420	236,800			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	5		雨水管渠整備費(補)	240,000	230,000	
2								
3								
4								
5以降	前年度繰越額							150,000
							合計	380,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会資本整備総合交付金	190,000
2	下水道事業債	190,000
3		
4		
5以降		
合計		380,000

事業要員	正規職員	0.87
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
御幸神中一号・水落舟津雨水幹線および雨水支線の函渠整備を行い浸水被害のないまちづくりを目指す。  
(国土強靱化地域計画に位置付けられる事業)

来年度の実績  
R2年度実績 R2 雨水幹線整備延長 L=531m

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	生活基盤耐震化等交付金事業
R2年度 事業名	生活基盤耐震化等交付金事業

総合戦略 体系	435	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	上水道耐震管路の整備(更新)
------------	-----	-----------------	-------------	----------------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	2014	終了年度	2025
	目的	災害時に特に水を必要とする病院や公共施設・緊急避難施設等へ水道水を供給する重要管路を、地震が発生しても機能を維持しうる耐震管に更新整備を行い、災害に強い上水道を目指す。				
	概要	重要路線の配水管等を、計画的に耐震管に更新する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	内容	整備計画・設計は市が行い、工事等は業者に発注。	
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
整備延長		m	目標値	950	900	930	930	900
			実績値	984	909	1008		
計算 根拠			達成率	103.6	101	108		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	水道事業会計
	予算額	125,766	129,272	100,000	200,000	200,000		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	125,766	129,272	100,000	200,000	200,000		経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	4	1	1		拡張事業費	248,800	200,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	生活基盤耐震化等交付金	50,000
2	企業債	150,000
3		
4		
5以降		
合計		200,000

事業要員	正規職員	1.8
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度 取組内容  
災害時(地震等)に特に水を必要とする病院、災害時要支援者利用施設および公共施設や災害対策の拠点施設、緊急避難施設等に至る重要管路の耐震化を計画的に整備する。  
施工延長 L=900m

R2年度の実績  
耐震管路の整備延長 L=1012m

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし

R4方向性⇒

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	田んぼダム推進事業
R2年度 事業名	田んぼダム推進事業

総合戦略 体系	434	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	浸水被害総合軽減事業
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	水田が有する本来の貯水機能を利用し、大雨時に一時的に水を貯めることで、洪水被害を軽減する。				
	概要	田んぼの排水口に排水管(径φ150)より小さな穴の(径φ60)調整板を設置することにより、一時的に貯水する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
排水機改修水田面積		ha	目標値	120	120	100	100	60
			実績値	124.5	62	160		
			達成率	103.8	51.7	160.0		
計算 根拠			実数値					
			ランク	A	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額	10,000	10,000	10,000	15,000	15,000	事業タイ	補助(県)事業
	決算額	10,000	10,000	5,000	15,000		経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	6	541	田んぼダム推進事業費	15,000	15,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	15,000

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	県単土地改良事業補助金	7,500
2		
3		
4		
5以降		
合計		7,500

事業要員	正規職員	0.5
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
大雨が降ったときの浸水被害軽減の為、引き続き田んぼダム事業を推進し、実施面積を拡大していく。  
(国土強靱化地域計画に位置付けられる事業)

来年度の実績  
R2年度実績 A=160ha

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
特になし

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	キャッシュレス収納推進事業
R2年度 事業名	キャッシュレス収納推進事業

総合戦略 体系	523	世界のめがねの聖地SABAEの確立に 向けた組織強化	健全で効率的な行政運営	適正な課税と積極的な徴収
------------	-----	-------------------------------	-------------	--------------

PLAN (計画)	部署名	上下水道課	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	上下水道使用者が、いつでもどこでも非接触型で納付できる環境を提供する。				
	概要	平成27年1月から窓口でのクレジット払いを県内初で開始 平成29年1月からクレジットカード継続払い開始 平成30年4月よりスマホアプリでの収納開始				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	その他	実施 形態	内容 クレジット決済代行会社のHPで申込者情報(一覧)を確認し、重複等をチェックしており、該当者がいれば一方を削除している。また、停止やカード変更の申込みがあれば、その対象者データの削除等を行っている。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
クレジット等収納実施率			目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
クレジット等収納実施件数		件	目標値	100	300	400	700	700
			実績値	402	616	758		
計算 根拠			達成率	402	205.3	189.5		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	水道事業会計
	予算額	650	912	1,239	1,613	1,680		事業タイ	単独事業
	決算額	650	912	1,239	1,613			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	4	業務費		123,300	1,680	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,680

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。  
(評価1いいえ・2はい)  いいえ  はい

行政が実施すべき事業か。  
(評価1必要なし~5必ず実施すべき)  1  2  3  4  5

住民等のニーズはあるか。  
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)  1  2  3  4  5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。  
(評価1はい・2いいえ)  はい  いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う  
人員削減させる余地はないか。  
 ある  ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を  
確保する余地はないか。  
 ある  ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。  
 ある  ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容  
クレジット等収納の継続払を継続し、利用者の利便性向上に資する。  
キャッシュレス社会に対応するため、収納課と連携しスマホアプリによる納付も継続する。

来年度へ向けて R2年度の実績  
クレジット等収納実施件数 758件

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題  
クレジット収納が増加傾向であるが、取扱信販会社等に支払手数料やシステム利用料が高額である。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点  
特になし

R4方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒